



古石

後援会だより

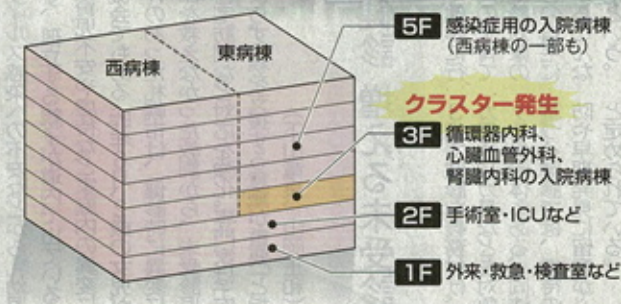
URL: http://古石.com/

第3315号 令和3年8月15日 発行 古石市見沼 3丁目1番地 古石市役所 事務局 TEL 26-2226

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail: furuishi@gray-plala.or.jp

小樽市立病院17人集団感染



職員が発熱 申告不徹底

通常業務継続
同病院によると、クラスターは3階東棟で発生。感染が公表された20代の女性看護師は17日の勤務終了後、38度以上の発熱を確認したが、鎮痛剤を服用して熱が下がったため上司には報告しなかった。14日から3日間、入院患者の検温や血圧測定などの通常業務を

新規外来・入院 休止

院内に対策本部
【小樽】小樽市は20日、小樽市立病院で入院患者と職員計17人の新型コロナウイルスのクラスター(感染者集団)が発生したことを発表し、同院内に対策本部(本部長・信野祐二 副院長)を設置した。
市はこれに先立ち同日、同病院の入院患者10人と職

病床逼迫恐れ

同病院ではクラスター発生により21床のコロナ感染専用病床が19床埋まり、急ぎよ、8床を確保して29床に増やした。クラスターがこれ以上広がると病床が埋まる恐れもあり、信野祐二副院長は「感染症病床が逼迫した場合、札幌の病院にお願いすることも想定し

後志「医療の要」打撃

小樽市立病院 17人集団感染

新型コロナウイルスのクラスター(感染者集団)が発生した小樽市立病院では、医療従事者に発熱があった場合のルールが徹底されていなかった。同病院は後志管内の基幹病院で、コロナ患者を受け入れる感染症指定医療機関でもあり、地域医療への影響は大きい。道内では8月に入って感染者の4割が感染経路(リンク)を追えておらず、専門家は「ほかの地域の基幹病院でもクラスターが起きかねない」として警戒を呼び掛けている。(有田麻子、野呂有里、水野富)

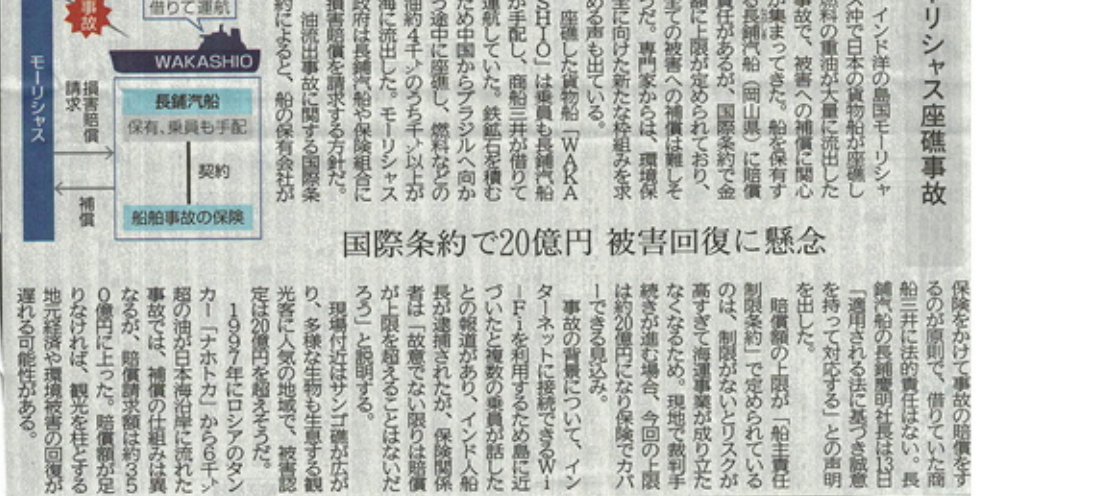
問題先送りはできない

JR経営悪化
新型コロナ禍による旅客激減で、JR北海道の経営悪化が一層深刻さを増してきた。2020年4〜6月期連結決算は、売上高に当たる営業収益が207億円と前年同期からほぼ半減、純損失は126億円となった。
JRは「公表もできない、島田修次社長は「経費削減」の観点から、早急な経営改善の検討が必要だ」としている。
国は19年度から年約200億円の支援を行ってきた。根拠法の期限が本年度で切れるため、道は法改正による継続を求めている。
JRの苦境は国鉄分割民営化が生み出したはずだ。国は責任を持つ十分な支援をすべきだ。
そのうえで、国、道、沿線自治体の気や安全体制が損なわれる。
JRは単独で維持困難とする13区間のうち5区間を廃止する意向。残る8区間は公的支援で存続を進めたい。

知事、核ごみ拒否方針

概要調査に不同意へ
知事は核のごみの県内への受け入れを「拒否」する方針を明らかにした。核のごみを受け入れる場合は、国が「二重チェック」を義務づけることと明記している。(本報記者)

重油流出 賠償金額に上限



モーリシャス座礁事故

インド洋の島国モーリシャス沖で日本の貨物船が座礁し、重油が大量に流出した事故で、被害への賠償に関心をもち、被害者側が賠償金を請求する方針だ。
座礁した貨物船「WAKASHIO」は、モーリシャス沖で座礁し、重油が大量に流出した。被害者側は、賠償金を請求する方針だ。
国際条約で20億円 被害回復に懸念
賠償金に上限がある「船舶責任制限条約」で定められているのは、賠償額が20億円を超えないことだ。
モーリシャス沖で座礁した「WAKASHIO」は、モーリシャス沖で座礁し、重油が大量に流出した。被害者側は、賠償金を請求する方針だ。
国際条約で20億円 被害回復に懸念
賠償金に上限がある「船舶責任制限条約」で定められているのは、賠償額が20億円を超えないことだ。